

怒りの矛先^{ほこき}を向ける

千葉県 御宿小学校

5年 永瀬 有生

宿題が全部終わって、ひまになったので、わたしはテレビをつけて時間をつぶしていました。わたしにはむずかしいテレビばかりで、テレビを消そうと思ったとき、あるニュースがはじまりました。

気になって見ていると、たくさんのおどろかされました。今みんなをなやませている新型コロナウイルスについてのニュースでした。

テレビの向こうがわには、新型コロナウイルスにかんせんしてしまったことで、いやがらせを受ける人たちがたくさんいました。

家のかべに落書きをされたり、この町から出ていけと電話でいわれたり、ネットに悪口を書かれたり。テレビの取材を受けた人が、

「ウィルスより人間の方がずっとこわい。」

と言っていました。かんせんしてしまったことより、周りの人たちの反応がこわいという人がたくさんいます。

新型コロナウイルスのえいきょうで、人と話すときにマスクをしないといけなかったり、イベントが今まで通りにできなかったり、ストレスが多い生活なのかもしれません。だからといって、その怒りの矛先を人に向けるのはやめませんか。まだくわしくわからないウィルスなので、かんせんするのがこわいことはわかります。わたしもこわいです。

でも、かんせんしてしまった人をきずつけるのは、ちがうと思います。その行動によって相手がきずついていないか、よく考えてほしいです。かんせんしたい人なんて、だれもいません。みんな、なりたくて病気になったわけではないのです。かんせんしようにかからないか不安なのは、みんな同じです。

不安なとき、自分に協力してくれる人がいたらどれだけ心強いでしょうか。自分をゆうせんするために、相手を悲しませるのはいけません。

相手を絶対にきずつけないことはむずかしいと思います。でももし、相手を悲しませてしまったら、あやまればいいと思います。相手の気持ちを考える、自分が悪いことをしてしまったと気づいたら友達にすぐにあやまる。私はいつもこの二つを心がけています。

そして、友達が悲しい思いをしているとき、やさしい言葉がかけられるようになりたいです。